

# ● もくじ

もくじ .....	1
はじめに.....	2
本書の読みかた.....	4
<b>1</b> 初めて電源を入れるときは.....	5
1 電源を入れる.....	5
2 Windows XPのセットアップ.....	6
3 セットアップを終了したあとに.....	13
4 ユーザー登録をする.....	14
<b>2</b> 電源の切りかた.....	15
<b>3</b> 省電力機能について.....	16
1 省電力機能について.....	16
2 省電力モードについて.....	16
3 省電力モードへの移行.....	17
4 省電力モードからの復帰.....	20
<b>4</b> Windows XPモデルの使用にあたって.....	21
1 CD/DVDへの書き込みについて.....	21
<b>5</b> 付録.....	25

# はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書は、Windows XPのセットアップ方法と、Windows 7モデルとは異なる操作や機能などについて説明しています。パソコン本体の機能説明や取り扱い方法については、付属の『取扱説明書』をお読みにになり、操作を行ってください。

また、本製品を安心してお使いいただくために重要な事項が添付の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みにになり、正しくお使いください。お読みにになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

## ● 記載について

- ・ご購入のシリーズによって内蔵されているコネクタや拡張スロットなどは異なります。詳細については『取扱説明書』をご覧ください。
- ・本書に記載している画面は、表示例です。実際に表示される画面と異なる場合があります。
- ・本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。画面の表示と異なる場合がありますが、読み換えてご使用ください。

## ● Trademarks

- ・Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。

## ● プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを記録メディアにて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

このほかの使用制限事項につきましては各種説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

## ● 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

## ● お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。

# 本書の読みかた

## 記号の意味



お願い

・データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。



メモ

・知っていると便利な内容を示します。

☞ 参照先を示しています。

本書内の参照先は「 」で示し、ほかの説明書の参照先は『 』で示しています。

(注) 補足説明をしています。

## 用語について

本書では、次の用語について定義します。

システム	特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版を示します。
Windows	Windows XP を示します。
Windows XPモデル	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版がプレインストールされているモデルを示します。
Windows 7モデル	Windows® 7 Professionalがプレインストールされているモデルを示します。
アプリケーションまたはアプリケーションソフト	アプリケーションソフトウェアを示します。
ドライブ	DVD-ROMドライブまたはDVDスーパーマルチドライブを示します。内蔵されているドライブはモデルによって異なります。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブが内蔵されているモデルを示します。
DVDスーパーマルチモデル	DVDスーパーマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。
ハードディスク1基搭載モデル	ハードディスクドライブが1台搭載されているモデルを示します。
ハードディスク2基搭載モデル	ハードディスクドライブが2台搭載されているモデルを示します。

# 1 初めて電源を入れるときは

## 1 電源を入れる

『取扱説明書』の手順に従って、必要な機器（マウス、キーボード、ディスプレイなど）を接続して、電源を入れてください。

パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windows を使えるようにするために、「Windows セットアップ」という操作が必要です。

一度Windowsのセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐにWindowsを使用することができます。

## ● セットアップをするときのご注意



- ・マウスとキーボードが接続されていることを確認してください。接続していないと、セットアップを行うことができません。
- ・増設メモリ、PCIカード、PCI Expressカードを取り付けたり、プリンターを接続するなどの機器の拡張を行っている場合、正しくセットアップできない場合があります。ディスプレイやマウス、キーボード以外の周辺機器の取り付けや接続はシステムのセットアップ終了後に行ってください。
- ・セットアップを行うときは、LANケーブルは接続しないでください。LANケーブルが接続されていると、ネットワークの設定が既定値（default）のままネットワークに接続してしまうため、ネットワークに障害をもたらす場合があります。
- ・システムのセットアップ中は、絶対に電源を切らないでください。
- ・やむをえない場合以外は、セットアップ中にキャンセルしないでください。正しくセットアップできない場合があります。
- ・ケーブル類が確実に接続されていることを、もう1度確認してください。
- ・セットアップを行わないと、あらかじめインストールされているシステム（Windows XP）やアプリケーションを使用することはできません。

## ② Windows XPのセットアップ

Windows XPのセットアップでは、次のことを行います。

- マイクロソフト 使用許諾契約書（Windowsのライセンス）への同意  
マイクロソフト 使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意します] を選択しないと、Windowsを使用することはできません。
- 管理者パスワードの設定  
Administratorのパスワードを設定します。
- ユーザー名の設定  
ユーザー名の設定を行います。

ネットワークに接続する設定は、セットアップ完了後に行えますので、ここでは省略した場合の手順を説明します。

ネットワークの設定を行う場合は、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。



お願い

- ・ Product Keyがパソコン本体に貼られているMicrosoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。  
Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、はがしたり傷つけたりなどして、絶対になくさないでください。再発行はできません。  
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守サービスが受けられなくなります。

## ● セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行ってください。

初めて電源を入れると、[Microsoft Windowsへようこそ] 画面が表示されます。



メモ

- ・ Windowsセットアップのヘルプを表示するには、画面右下の  ボタンをクリックするか **[F1]** キーを押します。

## 1 [次へ] ボタンをクリックする

[使用許諾契約] 画面が表示されます。



## 2 画面下部の [同意します] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

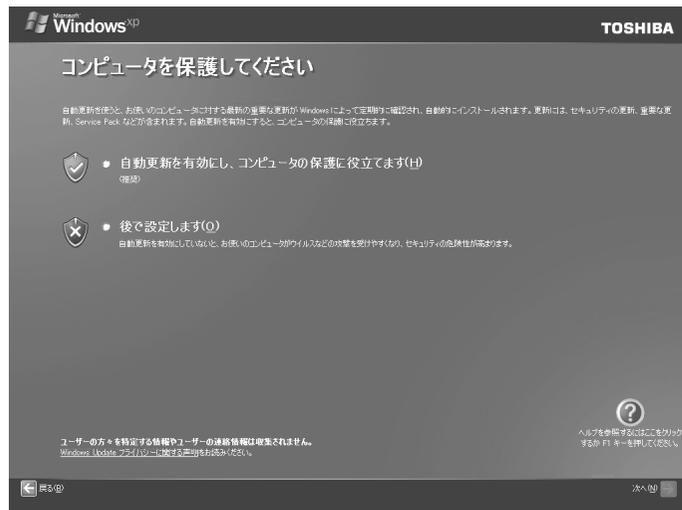
契約の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックして画面をスクロールさせてください。

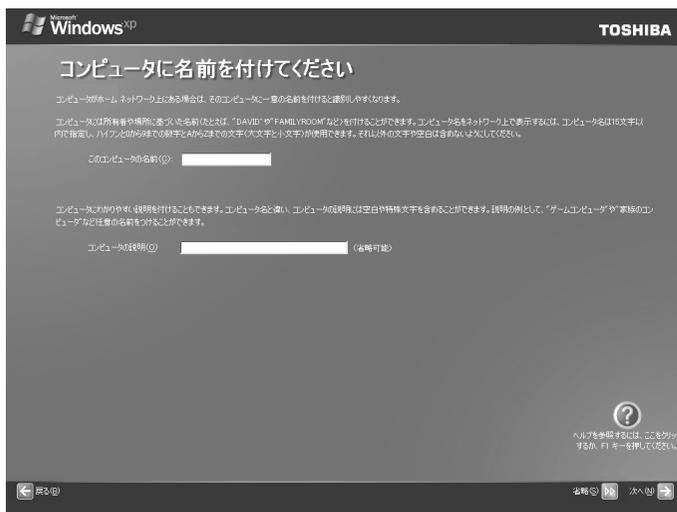


- ・ 契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。[同意しません] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[コンピュータを保護してください] 画面が表示されます。



### 3 目的に合わせてどちらかの項目をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする [コンピュータに名前を付けてください] 画面が表示されます。



### 4 [このコンピュータの名前] にコンピューター名を入力し、[次へ] ボタンをクリックする

半角英数字で任意の文字列を入力してください。半角英数字以外は使用しないでください。このとき、同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。コンピューター名の付けかたに関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[管理者パスワードを設定してください] 画面が表示されます。



## 5 [管理者パスワード] にパスワードを入力する

Administratorと呼ばれる管理者のユーザーアカウントでは、コンピューターにフルアクセスできます。

パスワードには半角の英数文字および記号を使用することができます。



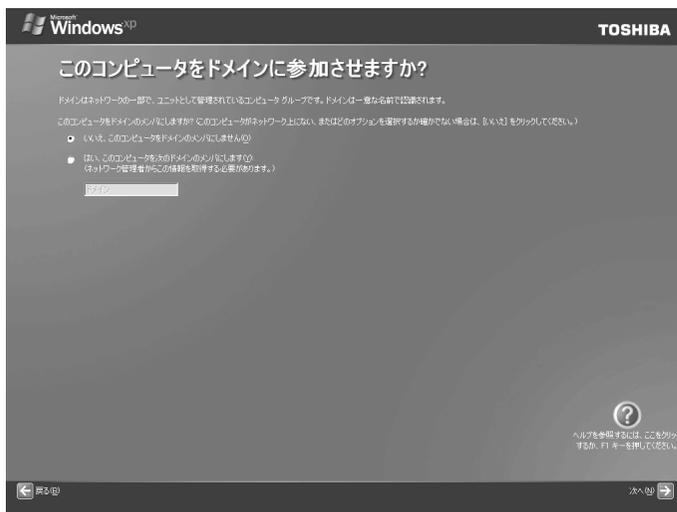
お願い

- ・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。  
たとえば「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

[管理者パスワード] 欄での入力後、[Tab]キーを押すと、「|」（カーソル）が[パスワードの確認入力] 欄に移動します。

## 6 [パスワードの確認入力] にもう1度パスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックする

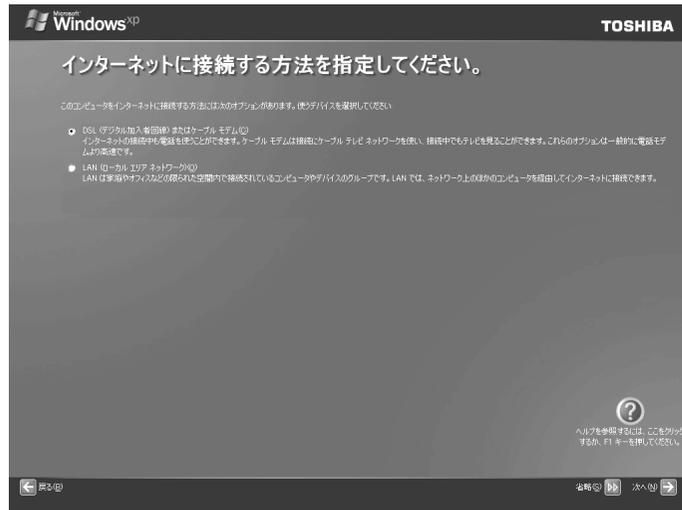
[このコンピューターをドメインに参加させますか?] 画面が表示されます。



## 7 [いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

ドメインの設定は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

[インターネットに接続する方法を指定してください。] 画面が表示されます。[インターネット接続を確認しています]画面が表示されることがありますが、そのままお待ちいただくと[インターネットに接続する方法を指定してください。]画面が表示されます。



## 8 [省略] ボタンをクリックする

インターネット接続の設定は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

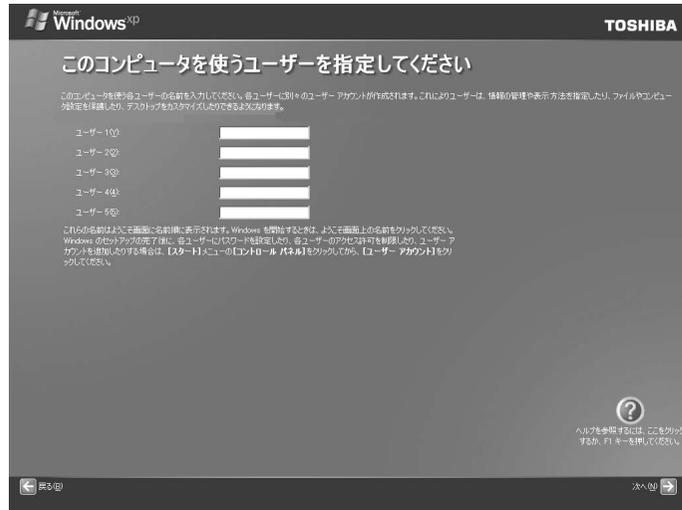
[Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?]画面が表示されます。



## 9 [いいえ、今回はユーザー登録しません] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする

マイクロソフト社へのユーザー登録は、市販のWindows XPを購入された場合のみ必要ですので、ここでは省略します。

[このコンピュータを使うユーザーを指定してください] 画面が表示されます。



## 10 [ユーザー 1] 欄に使う人の名前を入力する

Windows XPでは複数のユーザーを設定し、それぞれのユーザーごとに別々の環境を構築できますが、ここでは1人の名前だけ入力した場合について説明します。

「|」(カーソル)が表示されている位置から文字などを入力できます。「|」(カーソル)が表示されていない場合は、[ユーザー 1] 欄にポインターを合わせてクリックしてください。



メモ

- 標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。  
例：半角英数字で“nakata”と入力する場合

### 1 [半角/全角]キーを押す

日本語入力システムMS-IMEの日本語入力モードをオフにします。

### 2 [N][A][K][A][T][A]とキーを押す

入力ミスをした場合は、[Back Space]キーを押して入力ミスした文字を削除します。

## 11 [次へ] ボタンをクリックする

[設定が完了しました] 画面が表示されます。



## 12 [完了] ボタンをクリックする

Windowsのセットアップが終了してパソコンが再起動し、デスクトップ画面が表示されます。



メモ

- ・ハードディスク1基搭載モデルでは、ハードディスクドライブの全領域がCドライブ (NTFS) に設定されています。
- ・ハードディスク2基搭載モデルでは、1台目のハードディスクドライブの全領域がCドライブ (NTFS) に設定されています。2台目のハードディスクドライブはNTFSで全領域フォーマット済みです。
- ・東芝へのユーザー登録を行ってください。  
☞ ユーザー登録 ☞ 「本節 4 ユーザー登録をする」

### ● Windowsの使いかた

Windowsの使いかたについては、[スタート] - [ヘルプとサポート] をクリックして、『ヘルプとサポート センター』をご覧ください。

Windows XPの最新情報やアップデートの情報は次のホームページから確認できます。

- Windows XPについて  
ホームページ： <http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/default.msp>
- Windows XPのアップデート  
ホームページ： <http://windowsupdate.microsoft.com/>

## ③ セットアップを終了したあとに

### ● 日付と時刻を確認する

コンピューターの内蔵時計の日付と時刻があっているかどうか、確認します。  
合っていない場合は、正しい内容に設定してください。

#### ● 日付と時刻の設定方法

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [日付と時刻] をクリックする  
[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。
- 3 正しい日付、時刻の設定を行い、[OK] ボタンをクリックする

### ● ドメインに接続する

企業内など、ある1つにまとまったネットワークをドメインと呼びます。  
ここでは、本製品をドメインに接続する設定方法を説明します。  
ドメインのユーザー名やパスワードなど、詳しい設定方法がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。  
コンピューターの管理者アカウントでログオンし、次の操作を行ってください。

#### ● ドメインの設定方法

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- 3 [コンピュータの基本的な情報を表示する] をクリックする  
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- 4 [コンピュータ名] タブで [変更] ボタンをクリックする
- 5 [ドメイン] に接続するドメインの名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする
- 6 ドメインの [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[OK] ボタンをクリックする
- 7 [OK] ボタンをクリックする
- 8 [OK] ボタンをクリックする  
パソコンを再起動してください。

## ● ユーザー補助について

画面を見る、音声を聞く、キーボードやマウスを操作するなどのパソコンでの作業が難しい場合、Windows XPでは [ユーザー補助の設定ウィザード] または [ユーザー補助のオプション] でユーザーを補助します。

### ユーザー補助の設定ウィザード

[ユーザー補助の設定ウィザード] では、ユーザー補助に関する質問が表示されます。質問の回答に合わせて、自動的にパソコンを設定します。

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] をクリックし、[ユーザー補助のオプション] をクリックする
- 2 [Windows を構成して、ユーザーの視覚、聴覚、四肢の状態に合わせて使用する] をクリックする

### ユーザー補助のオプション

[ユーザー補助のオプション] では、直接設定することができます。

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] をクリックし、[ユーザー補助のオプション] をクリックする
- 2 [ユーザー補助のオプション] をクリックする

詳しくは、[スタート] - [ヘルプとサポート] をクリックして『ヘルプとサポートセンター』を起動し、「ヘルプトピックを選びます」の [ユーザー補助] をクリックして、説明をお読みください。

## ④ ユーザー登録をする

.....

東芝では、お客様へのサービス・サポートのご提供の充実をはかるために東芝ID (TID) のご登録をおすすめしております。

登録の方法については、『取扱説明書』を確認してください。

## 2 電源の切りかた

次の手順に従って電源を切ってください。

### ● 電源切断時のお願い

- 電源スイッチで電源を切らないでください。作業中に電源スイッチで電源を切ると、故障やデータ消失の原因になります。  
なお、システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けると電源が切れます。その際、作成中のデータは消失する可能性があります。
- 電源を切ったあと、もう1度電源を入れる場合は、5秒以上たってから入れてください。5秒以上経過していない場合は、誤動作することがあります。
- アプリケーションが起動しているときは、作業中のデータを保存し、アプリケーションを終了してから電源を切ってください。  
☞ 『各アプリケーションに付属の説明書』
- HDDアクセスランプ 、ドライブのアクセスランプが消えていることを確認してください。
- 電源を切ったあと、本体を移動する場合は、30秒以上たってから移動してください。電源切断直後はハードディスクドライブ、ファンなどの駆動部分が完全に停止していません。電源切断直後の移動は機器の故障の原因となります。

### 1 [スタート] - [終了オプション] をクリックする

ドメイン参加している場合、[終了オプション] は [シャットダウン] と表示されます。

### 2 [コンピュータの電源を切る] 画面で [電源を切る] をクリックする

ドメイン参加している場合は、プルダウンメニューから [シャットダウン] を選択して [OK] ボタンをクリックしてください。

### 3 ディスプレイなどの、本体に接続している周辺機器の電源を切る

# 3 省電力機能について

## 1 省電力機能について

省電力機能とは、パソコンのシステム、ハードディスクドライブ、ディスプレイなどを省電力モードにして消費電力を抑制する機能です。

省電力モード中は、次の状態になります。



- ・省電力モードでも一定の電力を消費しています。長時間使用しない場合は、一度省電力状態を解除してからWindowsを終了してください。

省電力モード	本体の電源ランプ	システム／アプリケーション
システムが省電力モード（スタンバイ）のとき	緑色に点滅	停止する
ディスプレイが省電力モードのとき	緑色に点灯	停止しない
ハードディスクドライブが省電力モードのとき	緑色に点灯	停止しない
休止状態のとき	消灯	停止する

本製品にあらかじめインストールされているWindowsは、省電力機能を備えています。設定されている情報に従って、省電力機能を作動させることができます。ここでは、本製品とWindowsの省電力機能について簡単に紹介します。

## 2 省電力モードについて

本製品にある省電力モードとその動作は次のとおりです。

ディスプレイ	画面表示が消えます。
ハードディスクドライブ	モーターの回転を停止します。
LAN接続 (ネットワークへの接続)	切断します。
USB対応機器	停止します。
PCIカード PCI Expressカード	動作を停止します。 (* カードによっては本製品を再起動するなどして初期化が必要になります。)
i.LINK (IEEE1394) 対応機器	停止します。



- ・3Dスクリーンセーバーなど、比較的高い負荷でプロセッサを使用するスクリーンセーバーを選択した場合、システムが使用中と判断されるため、「電源オプション」で設定した時間を経過しても省電力モードに移行しない場合があります。

## ● スタンバイ

本製品の消費電力を抑制します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。また、ネットワークに接続していない場合は時間がかかることがあります。

スタンバイはBIOSセットアップの [POWER] メニューの [Suspend mode] で、次のように設定を切り替えることができます。

- ・ [S1 (POS)] (Power On Suspend) .... ハードディスクドライブ、ディスプレイ、USB対応機器、PCIカード、PCI Expressカード、i.LINK (IEEE 1394) 対応機器などのデバイスの動作を停止します。
- ・ [S3 (STR)] (Suspend To RAM) ..... メモリ以外のほとんどのデバイスの動作を停止します。



工場出荷時はBIOSセットアップの [POWER] メニューの [Suspend mode] で [S3 (STR)] に設定されています。[S3 (STR)] は消費電力を抑えることができますが、接続しているUSB対応機器、PCIカード、PCI Expressカード、i.LINK (IEEE 1394) 対応機器によっては正常にスタンバイ状態に移行しない、またはスタンバイ状態から通常モードに復帰しない場合があります。動作に問題が生じる場合は、[Suspend mode] を [S1 (POS)] に切り替えてください。それでも動作に問題が生じる場合は、省電力機能を使用しない設定に変更してください。

BIOSセットアップについて ⇨ 『取扱説明書』

## ● 休止状態

本製品の消費電力を最小限に抑制します。休止状態に移行する直前の状態をハードディスクに保存します。通常モードへ復帰するとき、休止状態に移行する直前の状態を再現します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。

# ③ 省電力モードへの移行

設定された時間内にマウスまたはキーボードでの操作がない場合、自動的に省電力モードに移行します。

省電力モードに移行するまでの時間の設定方法は、次のとおりです。

## ● システムの省電力モード

Windows XPの省電力モードには、スタンバイと休止状態があります。

### ● スタンバイ

- 1 [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- 2 [電源オプション] をクリックする

### 3 [電源オプションのプロパティ] の [電源設定] タブの [システムスタンバイ] で時間を選択する

初期値は [15分後] です。

省電力モードを使用しない場合は、[なし] を選択してください。

### 4 [OK] ボタンをクリックする



・システムをスタンバイにすると、LAN接続は切断され、接続しているUSB対応機器、PCIカード、PCI Expressカード、i.LINK (IEEE1394) 対応機器の動作は停止します。

手動でシステムをスタンバイに移行させることもできます。

操作方法は次のとおりです。

#### ● [スタート] メニューからの実行

##### ① [スタート] - [終了オプション] をクリックする

ドメイン参加している場合、[終了オプション] は [シャットダウン] と表示されます。

##### ② [スタンバイ] をクリックする

ドメイン参加している場合は、プルダウンメニューから [スタンバイ] を選択して [OK] ボタンをクリックしてください。

#### ● 電源スイッチを短く押す

電源スイッチを短く押すことによってスタンバイに移行することができます。

電源スイッチを4秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので、電源スイッチは短く押ししてください。なお、[電源オプションのプロパティ] の [詳細設定] タブにある [コンピュータの電源ボタンを押したとき] が [スタンバイ] になっている場合のみ、この機能は有効です。

初期値は [スタンバイ] です。

## ● 休止状態

### 1 [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする

### 2 [電源オプション] をクリックする

### 3 [電源オプションのプロパティ] の [電源設定] タブの [システム休止状態] で時間を選択する

初期値は [なし] です。

省電力モードを使用しない場合は、[なし] を選択してください。

### 4 [OK] ボタンをクリックする



・システムを休止状態にすると、LAN接続は切断され、接続しているUSB対応機器、PCIカード、PCI Expressカード、i.LINK (IEEE1394) 対応機器の動作は停止します。

・[システム休止状態] が表示されていないときは、[休止状態] タブの [休止状態を有効にする] をチェックして [適用] ボタンをクリックしてください。なお、工場出荷時は [休止状態を有効にする] はチェックされています。

手動でシステムを休止状態に移行させることもできます。  
操作方法は次のとおりです。

- [スタート] メニューからの実行
  - ① [スタート] - [終了オプション] をクリックする  
ドメイン参加している場合、[終了オプション] は [シャットダウン] と表示されます。
  - ② [休止状態] をクリックする  
ドメイン参加している場合は、プルダウンメニューから [休止状態] を選択して [OK] ボタンをクリックしてください。
- 電源スイッチを短く押す  
電源スイッチを短く押すことによって休止状態に移行することができます。  
電源スイッチを4秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので、電源スイッチは短く押ししてください。なお、[電源オプションのプロパティ] の [詳細設定] タブにある [コンピュータの電源ボタンを押したとき] を [休止状態] にする必要があります。  
初期値は [スタンバイ] です。

## ● ディスプレイの省電力モード

- 1 [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- 2 [電源オプション] をクリックする
- 3 [電源オプションのプロパティ] の [電源設定] タブの [モニタの電源を切る] で時間を選擇する  
初期値は [10分] です。  
省電力モードを使用しない場合は、[なし] を選擇してください。
- 4 [OK] ボタンをクリックする

## ● ハードディスクドライブの省電力モード

- 1 [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- 2 [電源オプション] をクリックする
- 3 [電源オプションのプロパティ] の [電源設定] タブの [ハードディスクの電源を切る] で時間を選擇する  
初期値は [なし] です。  
省電力モードを使用しない場合は、[なし] を選擇してください。
- 4 [OK] ボタンをクリックする

## 4 省電力モードからの復帰

### ● スタンバイからの復帰

システムのスタンバイから復帰するには、次の操作を行ってください。

- 電源スイッチを短く押す



- ・ BIOS セットアップの [POWER] メニューの [Suspend mode] が [S1 (POS)] に設定されているときは、上記のほかに、キーボード入力またはマウスを動かすことによってスタンバイから復帰することもできます。
- ・ BIOS セットアップの [POWER] メニューの [PS2 Keyboard Wakeup From S3] が [Enabled] に設定されているときは、上記のほかに、キーボード入力することによってスタンバイから復帰することもできます。

### ● 休止状態からの復帰

休止状態から復帰するには、電源スイッチを押してください。



- ・ BIOS セットアップの [POWER] メニューの [PS2 Keyboard Wakeup From S4/S5] が [Enabled] に設定されているときは、上記のほかに、キーボード入力することによって休止状態から復帰することもできます。

### ● ディスプレイの省電力モードからの復帰

ディスプレイの省電力モードから復帰するには、次の操作を行ってください。

- キーボード入力をする
- マウスを動かす

### ● ハードディスクの省電力モードからの復帰

ハードディスクの省電力モードからは、ハードディスクへアクセスすることで、自動的に復帰します。

# 4 Windows XPモデルの使用にあたって

ここでは、本製品の操作や仕様などで、『取扱説明書』に記載された内容と異なる部分について説明します。

システムやお使いのモデルのソフトウェア環境によっては、このほかにも『取扱説明書』に記載された内容とは、一部動作が異なる場合があります。

## 1 CD/DVDへの書き込みについて

DVDスーパーマルチモデルの場合、書き込みに使用できるアプリケーションとして、「TOSHIBA Disc Creator」のほかに「TOSHIBA Direct Disc Writer」が用意されています。

また、DVD-RAMのフォーマットをする場合は、「Direct Disc Writer Format Utility」を使用してください。『取扱説明書』に記載されている「東芝DVD-RAMユーティリティ」は、本製品では使用できません。

### ● CD/DVDに書き込む

DVDスーパーマルチモデルの場合、CD/DVDにデータを書き込むことができます。書き込みを行う際は「TOSHIBA Disc Creator」または「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使用してください。

初めて使用するときは、[スタート] - [すべてのプログラム] - [アプリケーションの再インストール] をクリックし、表示される画面に従ってインストールしてください。

詳しい使用方はそれぞれのアプリケーションのヘルプをご覧ください。

本製品に添付の「TOSHIBA Disc Creator」「TOSHIBA Direct Disc Writer」以外のCD/DVDライティングソフトウェアは動作保証していません。Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは使用しないでください。

「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使用してCD/DVDに書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうえご使用ください。

「TOSHIBA Disc Creator」を使用してCD/DVDに書き込みを行うときは、『取扱説明書』に記載されているご注意をよくお読みのうえご使用ください。

守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

本製品に搭載されているDVDスーパーマルチドライブには書き込みエラーを防ぐバッファアンダーランエラー防止機能を搭載していますが、電源切断やドライブへのショックなどの本体異常や、記録メディアの状態などによっては、処理が正常に行えず、エラーとなる場合があります。

書き込みに失敗したCD/DVDの損害については、当社はいっさいその責任を負いません。また、記憶内容の変化・消失など、CD/DVDに保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



メモ

・ CD-R、DVD-R、DVD+Rに書き込みできるのは1回限りです。書き込みに失敗したCD-R、DVD-R、DVD+Rは再利用できませんが、CD-RW、DVD-RW、DVD+RWは消去すると再利用できます。

## ● 書き込む前に

- 書き込みの際には、書き込み可能なメディアをよくご確認ください。
  - ☞ ドライブで使用できるCD/DVD ⇨『取扱説明書』
  - ☞ 「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用できるCD/DVD  
⇨「本項-「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うために」
- CD/DVD に書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応し、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカーのメディアを使用してください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。
  - ☞ 省電力機能について ⇨「3 省電力機能について」
- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  - ・ スクリーンセーバー
  - ・ ウイルスチェックソフト
  - ・ ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  - ・ モデムなどの通信アプリケーション などソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となります。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクドライブに保存してから書き込みを行ってください。
- SDメモリカード、USB接続のハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスクドライブ以外の記録メディアにあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクドライブに保存してから書き込みを行ってください。

## ● 書き込み／削除を行うときは

- マウスを動かす、ウィンドウを開く、ユーザーを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 周辺機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
- パソコン本体から携帯電話、およびほかの無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、データ書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。

## ● 「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うために

- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」で利用できるメディアは、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM、CD-RWです。
- CD/DVDをフォーマットすると、CD/DVD上のすべてのデータが失われます。内容を確認のうえ、フォーマットしてください。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」はパケットライト形式での記録機能を備えたソフトです。「Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマット/書き込みしたメディアをほかのパケットライトソフトでは使用しないでください。また、ほかのパケットライトソフトでフォーマット/書き込みしたメディアに、「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込みは行わないでください。ほかのパケットライトソフトでフォーマットしたメディアを「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用する場合は、「Direct Disc Writer Format Utility」で完全フォーマットを行ってから使用してください。
- ファイルやフォルダーの「切り取り」→「貼り付け」は行わないでください。メディアやドライブに何らかの問題があった場合、もとのファイルやフォルダーが消失することがあります。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込んだDVD-RWメディアを「TOSHIBA Direct Disc Writer」がインストールされていないパソコンで読み出すには、DVD-RWメディアを「互換化」する必要があります。詳しくは「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプをご覧ください。DVD+RW、CD-RWメディアについては、「互換化」する必要はありません。
- 「Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットされたメディア上にプログラムのセットアップファイルなどを保存し、そのメディア上からセットアップを実行しようとしたとき、エラーが発生することがあります。その場合は、セットアップに必要なファイルなどをいったんハードディスク上にコピーした状態で、ハードディスク上からセットアップを実行してください。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」でCD-RW、DVD-RW、DVD+RWメディアに書き込んだファイルは、変更・削除することができます。

「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使用する際は、ヘルプの「仕様および注意事項」をよくお読みください。

### ● 「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプを見る方法

- 1 **【スタート】 - 【すべてのプログラム】 - 【TOSHIBA】 - 【CD&DVDアプリケーション】 - 【Direct Disc Writerヘルプ】 をクリックする**

## ● DVD-RAMを使うときは

ここでは、DVDスーパーマルチモデルでDVD-RAMに書き込みをする前に必要な操作について説明します。

フォーマットユーティリティとして、「Direct Disc Writer Format Utility」が用意されています。

「TOSHIBA Direct Disc Writer」をインストールしないと、「Direct Disc Writer Format Utility」は使用できません。

あらかじめ、[スタート] - [すべてのプログラム] - [アプリケーションの再インストール] から、「TOSHIBA Direct Disc Writer」をインストールしてください。

### ● フォーマットとは

新品のDVD-RAMは、使用する目的に合わせて「フォーマット」という作業が必要です。フォーマットとは、DVD-RAMにデータの管理情報（ファイルシステム）を記録し、DVD-RAMを使えるようにすることです。

フォーマットされていないDVD-RAMは、フォーマットしてから使用してください。詳細は「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプを確認してください。



・フォーマットを行うと、そのDVD-RAMに保存されていた情報はすべて消去されます。一度使用したDVD-RAMをフォーマットする場合は注意してください。

### ● ファイルシステム

DVD-RAMをフォーマットするときにファイルシステムを選択します。

ファイルシステムは、書き込むデータの種類や書き込み後のメディアを使用する機器に応じて選択します。また、映像データを書き込むときは、書き込み用のアプリケーションによって指定されている場合があります。

選択できるファイルシステムは「UDF2.00」「UDF1.50」「FAT32」です。

# 5 付録

## ● ハードウェアリソースについて

ご使用の環境（ハードウェア／ソフトウェア）によって変更される場合があります。

- 1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする
  - メモリマップ : [メモリ]
  - I/O マップ : [I/O]
  - 割り込みレベル : [IRQ]
  - DMA チャンネル : [DMA]

## ● 回復コンソール

Windows XPに重大なエラーが発生して起動できないような場合、回復コンソールを使って起動環境の復元やファイルの救出などを行うことができます。

回復コンソールは正常に機能しているときにインストールする必要があります。

詳しい使用方法は『ヘルプとサポート センター』で「回復コンソール」を検索し、確認してください。

### ● 回復コンソールのインストール

- 1 [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする
- 2 「C:¥windows¥i386¥winnt32.exe /cmdcons」と入力する
- 3 [OK] ボタンをクリックする

[Windows セットアップ] 画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。

「コンピュータのWindows のバージョンがXXXX....、セットアップを続行できません。....」というメッセージが表示された場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。回復コンソール開始の確認画面が表示されます。

インターネットに接続できない場合は、更新されたWindows セットアップをダウンロードすることができませんが、回復コンソールのインストールはそのまま続行することができます。

## ● 回復コンソールの操作方法

### 1 電源スイッチを押す

パソコンを起動したときにオペレーティングシステム一覧が表示されます。

通常、システムを起動する場合は、「Microsoft Windows XP Professional」を選択してください。

### 2 「Microsoft Windows XP 回復コンソール」を選択し、**Enter**キーを押す

画面のメッセージに従ってください。

最後に「C:¥WINDOWS>\_」が表示されます。

### 3 コマンドを入力する

「help」を入力すると、回復コンソールで入力できるコマンドの一覧が表示されます。

各コマンドの説明については、『ヘルプとサポート センター』でご確認ください。

回復コンソールを終了したい場合は「exit」と入力してください。パソコンが再起動します。



